消防計画作成 (変更) 届出書

	令和○年 ○月 ○日
四日市市 〇 消防署長	チェックしてください。
	■防火
管轄消防署長を中・北・南で記入してください。	□防災
	住 所 四日市市西新地14-4
チェックしてください。	氏 名 消防 太郎
■防火 別添のとおり、 □防災 管理に係	系る消防計画を作成(変更)したので届け出ます。
管理権原者の氏名 (法人の場合は、名称及び代表者氏名)	四日市市消防本部 消防長 消防 まもる
防火対象物 又は の所在地 建築物その他の工作物	四日市市西新地14-4
防火対象物 又は の名称 建築物その他の工作物 (変更の場合は、変更後の名称)	四日市市消防本部 は、[]書きで変更後 名称を記入してください。
複数権原の場合に管理権原 に属する部分の名称 (変更の場合は、変更後の名称)	四日市市消防本部 ▲▲テナント
防火対象物 又は の用途 ^{※1} 建築物その他の工作物 (変更の場合は、変更後の用途)	特定複合用途 令別表第1*1 (16)項
(亦再の担人は 十冊わ亦再市西	用途については、消防法施行令別表第 の項を記入してください。
受 付 欄※2	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
 - 3 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
 - 4 ※2欄は、記入しないこと。

1 目的と適用範囲

担当者の く、役職 この計画は、火災等の災害の予防と人命の安全及び被害の軽減を図ることを目的とし、この計画で定めたことは、ここに勤務し、出入りする全ての者が守らなければならない。

2 自衛消防計画(災害発生時に果たすべき任務)

ア 火災、その他災害発生時における被害を最小限度にとどめるため、防火管理者は災害発生時には、統括防火管理者が作成する消防計画で定める自衛消防隊が編成されるまでの間、全力を 挙げて下記に定めるほか必要な任務を果たすものとする。

	挙げて下記	に定めるほか必要	要な任務を果たすものとする。
	実施項目	具体例	実施要領 該当する項目にチェックをしてください。
	統括 (防火管理者)		●各担当者への指示と状況把握■消防隊への連絡、情報提供
	火災の周知 (火災発見者 が行う)	大声で知らせ る ベルを使う	■他のテナントに聞こえるように大声で「火事だ!」と叫ぶ■火災報知機または非常ベルの押しボタンを押してベルを鳴らす□
	初期消火 (担当者) 	消火器を使用 して消火	■消火器を使用して消火する ■必要ある場合は近隣のテナント等に助けを求める □屋内消火栓を使用して消火する
	通報 (担当者) OOOO	携帯電話でも可	■ビルの住所・名称・火災発生階・テナント名をはっきり伝える■初期消火、負傷者の状況、燃えている物など、知りえた情報をできるだけ伝える□
	避難誘導 (担当者) 0000		■外来者を誘導し、地上まで避難させる ■階段が使用できない、または階段までたどり着けない 時は避難器具を使用して避難させる ■負傷者が発生した場合は、身近にあるものを用いて応急 手当を行う ▼災時の一時避難場所を記入してください
fのJ	氏名を記入してくだ	の任務分担をし、各 がさい。(氏名ではな	■逃げ遅れ者がいないか最終確認する ■一時的な避難場所は(建物北側駐車場)とする
或名	<mark>等でも構いません。</mark>		
	ノ 7十 1 左と 7日	コキッチ 公中が上げ	おけいいて 2 声のも 7 担 人は 「て 到 の しか り ′に咪 のニ よい し 炊 12 特

イ 防火管理者は、災害発生時において必要のある場合は、下記のとおり近隣のテナント等に協力を求めるものとし、可能な限り各テナント等に了解を得ておく。

階	テナント名	責任者名	依頼する事項	依頼日
○階	0000	0000	初期消火の協力 ・屋内消火栓を使用する場合の協力	0/0
○階	0000	0000	避難誘導の協力 ・店舗の外に避難した外来者を安全な場所まで誘導する	0/0
○階	0000	0000	通報の協力 ・初期消火等にてやむを得ない場合は、 消防機関への通報を代行する	0/0

3 火災予防上の自主検査

ア 平素の火災予防および地震時の出火防止を図るため、防火管理者は平常時において下記に定 めるほか、必要な事項を確認し、不備のある場合は速やかに改善する。

項目	確認事項(確認の必要のある項目をチェックしてください。					
■ガスの元栓を毎日確認している ■コンロの周りにふきん等の可燃物がない ■コンロと壁の間隔を少し空けてある ■コンロに面する壁に熱がこもっていない ■ガスもれ警報装置を取り付けてある 火元管理 ■定期的に業者の点検を行っている ■電気調理器具、ポット等は使用しない時はコンセントを抜く ■喫煙の後始末は確実に行っている ■電気コード、コンセントの破損や異常がないか随時確認する □						
建物管理	■共有の通路・階段に障害物、可燃物が放置されていない※ ■通路への扉は非常時にはすべて容易に開放できる ■防火扉、シャッターが支障なく開閉できる※ ■外部への窓は非常時には容易に開放できる ■カーテン、じゅうたんは防炎性能のあるものを使用している ■ゴミ等可燃物を建物の周囲に放置していない ※建物全体に関するものは、建物管理者等の関係者に通報する。 管理者(会社)名 ○○○★式会社 連絡先					
設備管理ビル内に設置	消火器 ■消火器が手元にある ■消火器が買って5年以内、または点検済みである ■消火器の使用方法がわかる 消防用設備ごとに、設置について該当する項目にOをして 					
されている消 防用設備	屋内消火栓 [ある (・ない])					
消火器	□近隣のテナント関係者と協力して、屋内消火栓を使うことができる □					
自動火災報知設備 「ある・ない」 大災報知機の受信機がどこにあるかわかる						
建物内に設置されている消防用設備等の設備名を記入してください。	#常警報設備 (非常へル) [ある・ない] □非常ベルの押しボタンの位置がわかる □非常ベルの停止方法がわかる □ 避難器具 (ある・ない] ■避難器具の設置場所がわかる ■避難器具の使用方法がわかる ■避難器具の降下地点に障害物 (植栽・駐車車両等含む) がない					

4 教育、訓練

防火管理者は、従業員(アルバイト等含む)に対して、本計画を周知するとともに、入居する ビルについての統括防火管理者が作成する消防計画で定める自衛消防訓練に参加するなど、年2

回以上の訓練を実施するものとし、管轄の消防署へ計画 夜間·無人時の管理体制で該当するものをア〜エで記入し、

5	夜間·	無	人時	の防	火管理
---	-----	---	----	----	-----

5 夜間・無人時の防火管理	該当する項目の詳細を下記のア〜エに記入してくだ
夜間および休日等で無人になる場合は、下記(○ → のとおり防火管理を行う。
ア 警備会社に委託する場合	
警備会社名 〇〇〇〇 <mark>警備株式会社</mark>	担当者名 〇〇〇〇
緊急時の連絡先	電話 000-0000
警備会社への委託内容・・・(1)(2)	(3)())
1 異常発生時における関係機関への通報	
2 異常発生時における現場確認	
3 火災発生時における初期消火、消火協力	
4 火災発生時における避難誘導の協力	
5	
イ 付近に在住する従業員に連絡する場合(防火	火管理者)
従業員名(役職) 〇〇〇〇 (<mark>防火管理者)</mark>	
住所 四日市市〇〇町〇〇〇番地 電話	(自宅) 000-000
(携	帯等) 000-000-000
ウ 建物の一部、または隣接する建物に居住する 居住する場所 四日市市○○町○○○番地 ○○	ビル〇階
世帯主名 0000 電話	000-0000
エ その他、備考	
6 その他 ア 防火管理者の変更、建物の増改築に伴う避難経	路の変更等により本計画に変更が生じた場合は
遅滞なく管轄消防署にその旨を記した消防計画変	更届出書を提出する。
イ	

(下記に必要な事項を記入し、電話のそばの見やすいところに貼っておいてください。)

火災時の通報マニュアル

(火事・救急)です。

四日市市〇〇町〇〇〇番	地の○	○ビル ○ 階	の <u>O</u> (<u> </u>			
電話番号は、 000-	0000 で	、わたしの名	前は	<u>で</u> す。			
↓燃えているもの							
()が燃えています。							
↓ 水 バ	ケツ・ホース・消火	器•屋内消火栓など	↓ 消えた・消え	ません			
[初期消火を試みた場合] ()で消そうと	しましたが、()。				
→ 全員避難しました・今避難しています・逃げ遅れ者がいます							
現在、お客様や他のテナント	への人は、() ↓いません・O人	います				
	けが	人は ()。					

